

# 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事 （南一バク舎）

## 設計図

【図面リスト】

[illegible][illegible][illegible][illegible]

特 記 事 項		 <b>山梨建築設計監理事業協同組合</b>	承認	代表設計者	設計担当者	縮	尺	工事名称    遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事（南一バク舎） 図面名称    図面リスト	南バA-01 No.
				一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195063号 坪川 裕	設計年月日			

[illegible]



5

建具改修工事

1改修工法

5.1.3

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

・アルミニウム製建具

・

・

※建具表による

・図示

○鋼製建具

○外部

・

・

※建具表による

・図示

・内部

・

・

※建具表による

・図示

・鋼製軽量建具

・

・

※建具表による

・図示

・ステンレス製建具

・

・

※建具表による

・図示

・樹脂製建具

・

・

※建具表による

・図示

(a) 防火戸の指定は、特記による。

[5.1.4]

(c) 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動させる場合は、特記による。

なお、防煙シャッターの場合は、煙感知器と連動するものとする。

3 見本の製作等

特殊な建具の仮組

仮組の実施は、特記による。

[5.1.5]

4 その他

(a) 開閉操作が複雑な建具については、操作方法を表示する。

[5.1.7]

(b) 開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」の適用は、特記による。

5 アルミニウム製建具

性能及び構造

[5.2.2] [表5.2.1]

表5.2.1 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5	・	・	・	・
・C種	S-6	A-4	W-5	特記による。	・

防音ドアセット、防音サッシ

・適用する

遮音性の等級 ( )

断熱ドアセット、断熱サッシ

・適用する

断熱性の等級 ( )

耐震ドアセット

・適用する

内面変形追随性の等級 ( )

形状及び仕上げ

[5.2.4] [表5.2.2]

・枠、かまち等に用いるアルミニウム板の厚さは、1.5mm以上とする。

・構造

(1) 枠見込み70mmの建具に用いる引違い及び片引きの障子は、ガラスのはめ込みにグレイジングチャンネルが使用できる構造とする。

(2) 外部に面する引違い窓及び片引き窓は、容易に網戸が取り付けられる構造とする。

・結露水の処理方法は、特記による。

表5.2.2 表面処理の種別

種 別	表面処理	JIS規格番号	規 格 名 称	皮膜又は複合皮膜の種類
・AB-1種	無着色陽極酸化皮膜			AA15
・AB-2種	着色陽極酸化皮膜			
・AC-1種	無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜	AA6
・AC-2種	着色陽極酸化皮膜			
・BA-1種	無着色陽極酸化塗装複合被膜			A2 (通融な環境の屋外)
・BA-2種	着色陽極酸化塗装複合被膜	JIS H 8602	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜	
・C種	化成皮膜の上に塗装	JIS H 4001	アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付け塗装板及び条	—

(注) 常温乾燥形の塗装の場合は、特記による。

網戸

[5.2.3]

防虫網の材質

※合成樹脂製

・ガラス繊維入り合成樹脂製

・ステンレス製 (SUS316)

形式

※外部可動式

・固定式

6 樹脂製建具

性能及び構造

[5.3.2] [表5.3.1]

・建具の性能及び構造は、ドアセットにあってはJIS A 4702 (ドアセット)、サッシにあってはJIS A 4706 (サッシ) による。

・樹脂製建具の性能値等

(1) 耐風圧性、気密性及び水密性の等級は、特記による。特記がなければ、外部に面する建具の場合は表5.3.1により、種別は特記による。

表5.3.1 外部に面する樹脂製建具の性能等級等

性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)
種別				
・A種	S-4		W-4	
・B種	S-5	A-4	W-5	特記による
・C種	S-6			

7 鋼製建具

防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級は、特記による。

[5.4.2] [表5.4.1]

性能及び構造

・簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の等級は表5.4.1により、適用は特記による。

・外部に面する鋼製建具の耐風圧性は表5.2.1により、適用は特記による。

表5.4.1 鋼製建具の性能等級

性能項目	気密性	水密性
種別		
・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1

8 鋼製軽量建具

・簡易気密型ドアセットの気密性の等級はA-3とし、適用は特記による。

[5.5.2]

・鋼板の厚さは特記による。

[5.5.4] [表5.5.1]

表5.5.1 鋼製軽量建具に使用する鋼板類の厚さ (単位: mm)

区分	使用箇所	厚さ
・枠類	一般部分	1.6
	くつずり	1.5 (注)
・戸	表面板	0.6以上
	力骨、中骨	1.6
	召合せ	0.6以上
	縦小口包み板	ステンレス鋼板
	押縁	アルミニウム押出形材
・その他	隠縁、添え枠	1.6
・補強板の類		2.3以上

(注) くつずりの材料は、5.5.3 (3) による。

9 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

[5.6.2] [5.6.3]

外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による

[5.6.4] [表5.6.1]

表面仕上げ

※HL

・鏡面

曲げ加工

※普通曲げ

・角出し曲げ (補強あり)

表5.6.1 ステンレス製建具に使用する鋼板類の厚さ (単位: mm)

使用箇所	厚さ
一般部分	1.5 (注)
くつずり	1.5
裏板	1.6以上
補強板の類	2.3以上

(注) 特定防火設備で片面フラッシュ戸の場合は、実厚1.5mm以上とする。

10 木製建具

(建築工事標準仕様書)

かまち戸の樹種

かまち ( )

鏡板 ( )

(16.7.2)

ふすまの上張り

(表16.7.3)

※新鳥の子又はビニル紙程度 (押入等の裏面は除く)

・鳥の子

建物内部の木製建具に使用する表面材 (合板) 及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

(16.7.2)

※規制対象外

・第三種

11 建具用金物

鍵

マスターキー

※製作する

・製作しない

[5.7.4]

錠番

市販品

[5.7.4]

形式

・30組用

・60組用

・120組用

12 自動ドア開閉装置

[5.9.2]

ドアの種類

センサーの種類

※スライディングドア

・マトスイッチ

※光線 (反射) スイッチ

種類

・SSLD-1

・SSLD-2

・熱線スイッチ

・音波スイッチ

・DSLD-1

・DSLD-2

・光電スイッチ

・電波スイッチ

・スイングドア

・タッチスイッチ

・押しボタンスイッチ

種類

・SMD-1

・SMD-2

・ペダルスイッチ

・多機能便所スイッチ

・凍結防止措置 (適用箇所は建具表による)

13 自閉式上吊り引引装置

[5.10.2]

材料

※ SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの

[5.10.2]

・製造所標準仕様による

性能

※ 改修仕様5.8.3による

[5.10.3] [表5.10.1]

・製造所標準仕様による

[5.11.2]

シャッターの種類

性 能

・一般重畳シャッター

耐風圧性能 ( ) N/m<sup>2</sup>

・外壁用防火シャッター

耐風圧性能 ( ) N/m<sup>2</sup>

・屋内用防火シャッター

・屋内用防煙シャッター

開閉機能

※上部電動式 (手動併用)

・上部手動式

[5.11.2] [表5.11.2]

危害防止機構

※障害物感知装置 (自動閉鎖型)

[5.11.2]

一般重畳シャッターのシャッターケース

※設ける

・設けない

[5.11.3]

14 重畳シャッター

[5.11.2]

開閉形式

※手動式

・上部電動式 (手動併用)

[5.12.2] [表5.12.2]

スラット 材質

※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び銅等)

[5.12.4]

又はJIS G 3322 (塗装溶融亜鉛-55%アルミニウム合金めっき鋼板及び銅等)

・銅板

形状

※インタロック型

・オーバーラッピング型

[5.12.4]

ガイドレール等

※鋼板製

・ステンレス製SUS304 (厚さ1.0mm)

[表5.12.2]

耐風圧性能 ( ) N/m<sup>2</sup>

[5.13.2] [5.13.3]

セクション材料

開閉方式

収納形式

ガイドレールの材質

※スチールタイプ

※バラン式

・スタンダード形

※溶融亜鉛めっき鋼板

・アルミニウムタイプ

・チェーン式

・ローヘッド形

・ステンレス鋼板

・ファイバークラスタイプ

・電動式

・ハイリフト形

(SUS304)

・パーテカル形

耐風圧性能 ( ) N/m<sup>2</sup>

15 軽量シャッター

16 オーバーヘッドドア

17 ガラス

6 内装改修工事

1 改修範囲

[6.1.3]

※壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う

・図示の範囲

[6.1.3]

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲

[6.1.3]

※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う

・図示の範囲

[6.1.3]

天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修

※既存のまま

・図示の範囲

2 既存床の撤去並びに下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去

※仕上材のみ (接着剤共)

[6.2.2]

・下地モルタル共 (※図示の範囲

・除去範囲すべて)

[6.2.2]

合成樹脂塗床材の除去工法

・機械的除去工法

・目置し工法

[6.2.2]

改修後の床の清掃範囲

※改修箇所の室内

[6.2.2]

3 既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2] [4.4.9]

開口切壁撤去に伴う他の構造体の補修

[6.3.2]

※モルタル塗り (塗厚25mmを超える場合の補強

※行う

・行わない)

・図示

4 木材

[G]

[6.5.1] [表6.5.1]

表面仕上げる程度

・A種

※B種

・C種

[6.5.1]

現場搬入時の木材の含水率

※A種

・B種

[6.5.2]

現場処理木材

・使用する (使用箇所: )

[6.5.2]

構造材及び下地材の品質の基準

※改修仕様6.5.2 (a) (2) (iv) による

[6.5.2]

造作材の材面の品質の基準

※A種

・B種

[6.5.2]

代用樹脂を使用しない箇所

( )

[6.5.2] [表6.5.4]

5 集材等

[G]

[6.5.2]

集材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・第三種

[6.5.2]

構造用集材

[6.5.2]

施工箇所

品 名

強度等級

材面の品質

接着性能A

樹種名

寸法 (mm)

・1種

・使用環境A

・2種

・使用環境B

・3種

・使用環境C

構造用単板積層材

[6.5.2]

施工箇所

接着性能

曲げ性能

樹種名

寸法 (mm)

・使用環境1

・使用環境2

造作用集材

[6.5.2]

施工箇所

樹種名

見付け材面の品質

寸法 (mm)

※1等

・2等

化粧ばり造作用集材

[6.5.2]

施工箇所

心材の樹種名

化粧薄板の樹種名

化粧薄板の厚さ (mm)

見付け材面の品質

品質

寸法 (mm)

※1等

・2等

単板積層材

[6.5.2]

施工箇所

表面の品質

防虫処理

寸法 (mm)

※天然木化粧加工

・塗装加工

・化粧加工しない

・1等

・2等

・3等

6 床張り用合板及びその他の合板

[G]

[6.5.2]

合板のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・第三種

[6.5.2]

普通合板

[6.5.2] [6.13.2]

施工箇所

厚さ (mm)

表板の樹種名

接着の程度

板面の品質

防虫処理

その他の処理

(床)

6.5

※1類

・2類

広葉樹

・1等

※2等

・する

・しない

・難燃処理

(壁、天井)

・ラワン

・1類

針葉樹

※0-0

・する

・しない

・防炎処理

構造用合板

[6.5.2]

施工箇所

厚さ (mm)

表板の樹種名

接着の程度

等級

板面の品質

防虫処理

(床)

12.0

・特類

※1類

・1級

※2級

・C-D

・する

・しない

天然木化粧合板

[6.13.2]

施工箇所

厚さ (mm)

化粧板の樹種名

接着の程度

防虫処理

その他の処理

(壁、天井)

・3.2

・なら

・1類

・する

・しない

・難燃処理

・4.2

・しおじ

・2類

・防炎処理

・6.0

特殊加工化粧合板

[6.13.2]

施工箇所

厚さ (mm)

化粧加工の方法

表面性能

加工面

接着の程度

防虫処理

その他の処理

(壁、天井)

※4.0

・オーバーレイ

・F

・表面

・1類

・する

・しない

・難燃処理

・プリント

・F

・両面

・2類

・防炎処理

・塗装

・SW

7 防霉、防蟻処理

[6.5.5]

防霉処理

※行う (※改修仕様6.5.2 (h) (3) による

・図示

( )

[6.5.5]

防蟻防虫処理

・行う (※図示

( )

[6.5.5]

防霉、防蟻防虫処理剤の種類及び品質

[6.5.5]

表面処理用木材保存剤 (防霉・防蟻剤) は監督職員の承諾するものとする。

8 接着剤

(内装改修工事全般)

[6.5.2] [6.5.4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.5,6] [6.13.2] [6.14.2] [6.16.3]

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂 (以下「ユリア樹脂等」という) 又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・第三種

※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

9 軽量鉄骨天井下地

[6.6.2] [表6.6.1]

野縁等の種類

[6.6.2]

屋外 (・19形

※25形

屋内 (※19形

・25形)

[6.6.4]

既存の埋込みインサート

・使用する

・使用しない

[6.6.4]

あと施工アンカーの引抜き試験

・行う

・行わない

[6.6.3,4]

屋外の軒天等、ビロティ天井等

野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離

※図示

野縁の間隔

※図示

耐風圧性を考慮した補強

※図示

天井下地材における耐震性を考慮した補強

[6.6.4]

・行う (補強箇所

※図示

補強方法

※図示)

10 軽量鉄骨下地

[6.7.3] [表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類

※改修仕様表6.7.1による

・図示

[6.7.3]

スタッドの高さが5mを超える場合

※ 図示

[表6.7.1]

11 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

[6.8.2]

ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能

[6.8.2]

帯電防止

・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上〜3.2未満

又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>10</sup>〜1×10<sup>13</sup>Ω程度

耐動荷重

JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩耗性試験、層間はく離強度試験 (発泡層のあるビニル床シートのみ) 及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと

ビニル床シート

[G]

[6.8.2]

種 類

記号

施工箇所

色 柄

厚さ (mm)

特殊機能

※発泡層のないもの

※NC

・

※無地

※2.5

・

・帯電防止

・耐動荷重

・発泡層のあるもの

・

※所納

・

・帯電防止

・耐動荷重

・

工法

※熱溶接工法

・突付け (施工箇所: )

[6.8.3]

ビニル床タイル

[G]

[6.8.2]

種 類

記号

施工箇所

色柄

寸法 (mm)

厚さ (mm)

特殊機能

・コバノジョウ

CT

・

※無地

・300×300

※2.0

・

・帯電防止

・耐動荷重

・ビニル床タイル (半硬質)

・

・柄物

・450×450

・

・帯電防止

・耐動荷重

・コバノジョウ

CTS

・

※無地

・300×300

※2.0

・

・帯電防止

・耐動荷重

・ビニル床タイル (軟質)

・

・450×450

・

・帯電防止

・耐動荷重

・ビニル床タイル (軟質)

HT

・

※無地

・300×300

※2.0

・

・帯電防止

・耐動荷重

・

・450×450

・

・帯電防止

・耐動荷重

・置数ビニル床タイル

HTL

・

※無地

・500×500

・

・帯電防止

・耐動荷重

ビニル幅木

[6.8.2]

材質

※軟質

・硬質

高さ (mm)

※60

・75

・100

厚さ (mm)

※1.5

ゴム床タイル

[6.8.2]

色柄

( )

厚さ (mm)

※3.0

・3.5

・6.0

・9.0

寸法

( )

織じゅうたん

[6.9.2] [表6.9.1]

種 別

バイル形状

織り方

色柄等

帯電性

備 考

・A種

・カットバイル

・ウルトンカーペット

※無地

※人体帯電圧3kV以下

・B種

・ループバイル

・ダブバイルカーペット

・柄物

・

・C種

・カットバイル併用

・フリースタイルカーペット (標準品)

・

下敷き材

※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号

呼び厚さ8mm

タフテッドカーペット

[6.9.3] [表6.9.2]

バイル形状

バイル長さ (mm)

工 法

帯電性

備 考

・カットバイル

※5〜7

※全面接着工法

※人体帯電圧3kV以下

・ループバイル

※4〜6

・グリップ工法

・

・レベルループバイル

※4

・

・カット、ループ併用

・

下敷き材

※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号

呼び厚さ8mm

ニードルパンチカーペット

[6.9.3]

厚さ (mm)

※人体帯電圧3kV以下

帯電性

備考

タイルカーペット

[6.9.3,4]

バイル形状

種 類

寸法 (mm)

総厚さ (mm)

帯電性

備 考

※ループバイル

※第一種

※500×500

※6.5

※人体帯電圧3kV以下 (フリットは70%敷設範囲)

・カットバイル

・

・

・

・カット、ループ併用

・

タイルカーペットの敷き方

平場

※市松敷き

・模様流し

階段部分

※模様流し

・市松敷き

見切り、押え金物

・適用する (材質、形状等

※図示

・)

[6.9.3]

13 合成樹脂塗床

[6.10.2] [表6.10.1~8]

種 別

施工箇所

仕上げる種類

・弾性ウレタン樹脂系塗床材

※平滑仕上げ

・防滑仕上げ

・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂系塗床材

※薄膜流し層仕上げ

・厚膜流し層仕上げ (※平滑

・防滑)

・樹脂モルタル仕上げ (※平滑

・防滑)

・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量

[6.10.2]

※規制対象外

・第三種

特 記 事 項

承認

代表設計者

設計担当者

縮 尺

工事名称

図面名称

南バA-O 4 No.

山梨建築設計監理事業協同組合

設計年月日

工事名称

図面名称

南バA-O 4 No.



[illegible]

8-5

鉄骨工事

1 3 耐火被覆

種別等

種 別

所要性能及び適用箇所

・耐火材吹付け

・乾式吹付けロックウール

・半乾式吹付けロックウール

・湿式吹付けロックウール

・

・耐火板張り

・耐火材巻付け

・ラス張りモルタル塗り

・耐火塗料

耐火被覆面への錆止め塗装 ・行わない ・行う（適用箇所： ）

8-6

グラウト工事

1 モルタル及びグラウト材

構造体用モルタル  
※〔8.2.6〕による  
柱底均しモルタル  
※無収縮モルタル  
グラウト材  
※無収縮グラウト材（セメント、混和材、砂は無収縮モルタルに準ずる）

無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は次による  
無収縮モルタルの材料及び割合  
混和材 セメント系（酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。  
セメント JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。  
砂 (社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。  
配合比 (各重量比) (セメント+混和材) :砂=1:1  
無収縮モルタルの品質及び試験方法 [表8.2.10]  
コンシステンシー Jロートによる落下時間  
練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒  
ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率 2.0%以下  
凝結時間 凝結開始時間 1時間以上  
終結時間 10時間以内  
無収縮性 材齢 7日 収縮しないこと  
圧縮強度 材齢 3日 25.0 N/mm<sup>2</sup>以上  
材齢 28日 45.0 N/mm<sup>2</sup>以上  
付着強度 材齢 28日 3.0 N/mm<sup>2</sup>以上  
塩化物量 0.30kg/m<sup>3</sup>以上  
試験方法 (1) 日本道路公園規格JHS 312-1999（無収縮モルタル品質管理試験方法）による。  
(2) 塩化物量は、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）の9.6塩化物含有量の試験方法による。

無収縮グラウト材の材料（プレミックス及び現場調合形）  
混和材 セメント系（酸化カルシウム、カルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。  
セメント JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通又は早強ポルトランドセメントとする。  
砂 (社)土木学会「コンクリート標準示方書」に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。  
無収縮グラウト材の品質及び試験方法（現場調合形においては標準使用量・配合値）  
コンシステンシー Jロートによる落下時間  
練混ぜ完了から3分以内の値 8±2秒  
ブリーディング 練混ぜ2時間後のブリーディング率 2.0%以下  
凝結時間 凝結開始時間 1時間以上  
終結時間 10時間以内  
無収縮性 材齢 7日 収縮しないこと  
圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm<sup>2</sup>以上  
材齢 28日 40.0 N/mm<sup>2</sup>以上  
付着強度 材齢 28日 2.5 N/mm<sup>2</sup>以上  
塩化物量 0.30kg/m<sup>3</sup>以上  
試験方法 (1) 日本道路公園規格JHS 312-1999（無収縮モルタル品質管理試験方法）による。  
なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス形のみ試験を行う。  
(2) 塩化物量は、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）の9.6塩化物含有量の試験方法による。

8-7

連続繊維補強工事

1 連続繊維補強工法

連続繊維補強工法  
・「連続繊維補強材を用いた既存鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計・施工指針」（財）日本建築防災協会発行）の第4章「補強工事の施工」による工法又は同等の性能を有する工法  
・（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法

2 連続繊維シート

連続繊維の材料  
・炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ガラス繊維

連続繊維の材質  
引張強度（含浸硬化後） ・（ ）N/mm<sup>2</sup>  
ヤング係数（含浸硬化後） ・（ ）N/mm<sup>2</sup>  
繊維目付け量 ・（ ）g/m<sup>2</sup>  
シート厚さ ・（ ）mm  
シート張り方向 ※図示  
定着方法 ※図示  
含浸接着樹脂 ・低臭型  
プライマー ・低臭型  
断面修復材  
下地調整剤  
下地処理  
仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない  
下地処理の範囲 ※図示  
下地処理の程度 ※図示  
柱の隅角部の面取り  
箇所 ※図示  
大きさ ※図示  
下地調整 ※行う  
ひび割れ部改修 ・行う ・行わない  
種類及び部位 ※図示  
引張強度試験 ・行う ・行わない  
試験数量 ※図示  
付着強度試験 ・行う ・行わない  
試験数量 ※図示

8-8

耐震スリット新設工事

1 スリットの施工

既存撤去部の配管等の探査  
※鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に重出しを行う  
・はつり出による  
スリットの幅及び深さ ※図示

9

環境配慮改修工事

1 アスベスト含有建材の処理工事

分析によるアスベスト含有の調査  
・行う（採取箇所 ※図示）  
調査方法  
材料名 調査方法（1材料当たりの試料数）  
※定性分析（※3・・）・定量分析（・3・・）  
※定性分析（※3・・）・定量分析（・3・・）  
※定性分析（※3・・）・定量分析（・3・・）  
分析方法  
※JIS A 1481（建材製品中のアスベスト含有率測定方法）による  
分析結果については、監督職員に報告すること  
報告書の様式  
・（社）日本作業環境測定協会発行「石綿分析結果報告書」  
アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]  
・行う（測定箇所 ※図示）  
測定時期、場所及び測定点数  
測定方法  
JIS K 3850-1（空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法）による。  
種類 ※位相差顕微鏡法  
試料採取フィルターを二分割し、一方を位相差顕微鏡法用として使用し、他方はその結果が高い場合（10本/L以上）に行う位相差・分散顕微鏡法に保存しておく。  
・位相差、分散顕微鏡法  
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。  
測定方法  
測定3 (作業環境) 測定1,4,5,7 (室内環境) 測定2,6,8 (大気環境)  
メンブレンフィルターの直径 (mm) 25 25 47  
試料の吸引流量 (L/分) 1 5 10  
試料の吸引時間 (分) 5 120 240  
計数視野数 50 50 50  
定量限界 (本/L) 50 0.5 0.3  
測定記録項目  
(1) 除去するアスベスト含有建材の種類  
(2) 測定点の位置の図面  
(3) 測定日時、天候、気流  
(4) 試料採取条件  
(5) 標本作製方法  
(6) 使用顕微鏡の種類（開口数を含む）  
(7) 計数条件（HSEテストスライドの読取りグループ番号を含む）  
(8) 繊維数濃度（位相差顕微鏡法の場合は総繊維数濃度、位相差・分散顕微鏡法の場合はアスベスト繊維数濃度）  
(9) 定量限界  
(10) その他  
アスベスト含有吹付け材の除去（レベル1） ・行う  
除去対象範囲 ※図示  
除去方法 ※改修標準9.1.3 (2) (7) (a)～(b)による  
除去したアスベスト含有吹付け材等の処理  
※密封処理（二重袋梱包）  
・セメント固化  
除去対象範囲 ※図示  
作業場の隔離 ・行う ・行わない  
アスベスト含有保温材等の除去（レベル2） ・行う  
除去対象範囲 ※図示  
アスベスト含有成形板の除去（レベル3） ・行う

2 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.1]  
種 類 発泡剤の種類 ホルムアルデヒド放散による区分 厚さ (mm)  
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 [a] F☆☆☆☆等級 ・  
・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 [a] F☆☆☆☆等級 ・  
・硬質ウレタンフォーム保温材 ・ A種 [a] F☆☆☆☆等級 ・  
・フェノールフォーム保温材 ・ A種 [a] F☆☆☆☆等級 ・  
・ロックウール ・ F☆☆☆☆等級 ・  
・グラスウール ・ F☆☆☆☆等級 ・  
外装材の種類 [9.3.2]  
種 類 防火性能  
・  
既存外壁の仕上材の撤去 ・あり ・なし [9.2.3]  
下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様 [9.2.4]  
通気層 ・あり ( mm) ・なし [9.2.4]  
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 [9.2.4]  
特記なき事項は、製造所の仕様による。  
復層ガラスの厚さ 建具表による [5.14.1]  
複層ガラスの断熱性・日射減へ性による区分 ※U3-1 ・U3-2 [5.14.1]  
断熱材の種類 [9.3.1]  
種 類 発泡剤の種類等 厚さ (mm) 施工箇所  
打込み工 法  
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・ A種 [a]  
・押出法ポリスチレンフォーム保温材 ・保温板2種b A種 [a] ※25 ・ ※一般部  
・保温板3種b (スキん層付き) ※25 ・ ・ 接地部分  
・硬質ウレタンフォーム保温材 ・ A種 [a]  
・吹付け硬質ウレタンフォーム ※A種1 [a] ※A種1H 難燃性を有するもの ※15 ・ ※断熱材補修部分  
5 屋上緑化改修工事 [a] [9.4.1] [9.4.2]  
植栽基盤及び材料  
・屋上緑化軽置システム  
芝及び地被類の種類等 ※図示  
工法  
かん水装置 ・設置する（工事区分は図示による）  
既存保護層の撤去 ・行う  
6 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.1]  
路床の構成及び厚さ  
・遮断層 厚さ (mm) ※150  
・凍上抑制層 厚さ (mm) ※150  
・フィルター層 厚さ (mm) 車道部 ※150  
歩道部 ※50  
路床安定処理  
※添加材料による安定処理  
添加材料の種類  
・普通ポルトランドセメント  
・高炉セメントB種 [a]  
・フライアッシュセメントB種  
・生石灰 ( )  
・消石灰 ( )  
添加量 ( ) kg/m<sup>3</sup>(目標CBR ※5以上 ・ )  
・ジオテキスタイル  
単位面積質量 60g/m<sup>2</sup>以上  
厚さ (mm) 0.5～1.0  
引張強度 98N/5cm(10kgf/5cm)以上  
透水係数 1.5×10cm/sec以上  
盛土の種類  
・A種 ・B種 ・C種 ・D種  
・建設汚泥から再生した処理土 [a]  
遮断層及び凍上抑制層の材料  
・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂  
厚さは図示  
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込砂利 ・砂  
厚さは図示  
発生土の処理 ※構外搬出適切処理  
・構内指定場所に数均し  
・構内指定場所に堆積  
・構内指定場所に処分（搬出調査等を監督職員に提出する）  
路床土の支持力比（CBR）試験 ※行う ・行わない  
路床の絞固め度試験 ※行う ・行わない  
砂の粒度試験 ※行う ・行わない  
路盤材料  
・再生クラッシャーラン [a]  
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ [a]  
路盤厚さ (mm) 車道部 ※150  
歩道部 ※100  
路盤の絞固め度試験 ※行う ・行わない  
舗装材料及び厚さ [9.5.5] [9.5.6]  
車道部 ※改質アスファルトⅠ型 厚さ (mm) ※50  
歩道部 ※ストレータスファルト 厚さ (mm) ※30  
透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない [9.5.9]

7

PCB含有シーリング材処分

・第一次判定  
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する  
採取箇所数 計 箇所  
採取箇所 ※図示  
・第二次判定  
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う  
分析箇所 計 箇所  
・除去処理工事  
除去範囲 ※図示  
撤去方法 ・「標準施工要領書」（日本シーリング工事業共同組合連合会・日本シーリング材工業会）による

特 記 事 項

承認

代表設計者

設計担当者

縮 尺  
non scale  
設計年月日

工事名称  
遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事（南―バク舎）  
図面名称  
改修工事特記仕様書―6

南バA-07  
No.

山梨建築設計監理事業協同組合

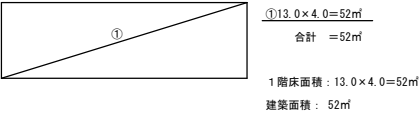


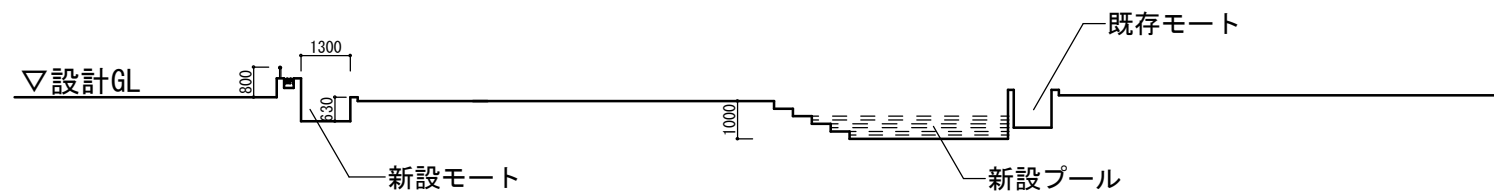
部位		仕上		部位	仕上	
外壁	改修前	コンクリート打放し　アクリルリシン吹付				
	改修後	下地処理（水洗い工法）既存塗膜除去部下地調整（0-1）可とう形外装薄塗材 E 吹付				
外壁（腰壁）	改修前	凝岩風左官仕上				
	改修後	高圧洗浄				
サッシ廻りシーリング 打替	改修前	サッシ廻りシーリング				
	改修後	既存シーリング撤去後プライマー塗布シーリング充填				
外巾木	改修前	コンクリート打放し				
	改修後	高圧洗浄　コンクリート打放し補修				
新設プール	床：コンクリート下地　防水モルタル塗（防水剤入）　t=30					
	立上り壁：コンクリート下地　防水モルタル塗（防水剤入）　t=15					
既存プール	存置					
既存モート（一部撤去）	改修前	（ブロック下地）外装薄塗材 E	（腰壁）コンクリート打放し			
	改修後	（ブロック下地）下地調整の上、外装薄塗材 E	（腰壁）下地調整の上、外壁用ウレタン塗膜防水塗			
新設モート	床・内壁：コンクリート打放し補修					
	外立上り壁（プラントボックス側）：コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材 E 吹付					
	モート部手摺：H=300（錆鉄製塗装品）					
ピオトープ風池	床・内壁：コンクリート下地　防水モルタル塗 t=15					
植栽	既存樹木撤去					
外部扉	新設 S D 扉180° 開閉 2.0W×2.0H（溶融亜鉛メッキ処理の上 D P 塗）					

【事前】調査概要  
事前調査については、足場設置後にクラック、浮き及び剥離の激しい部分等については、本工事で調査を行う。  
事前調査対象部分：外壁、屋上パラペット笠木、外巾木

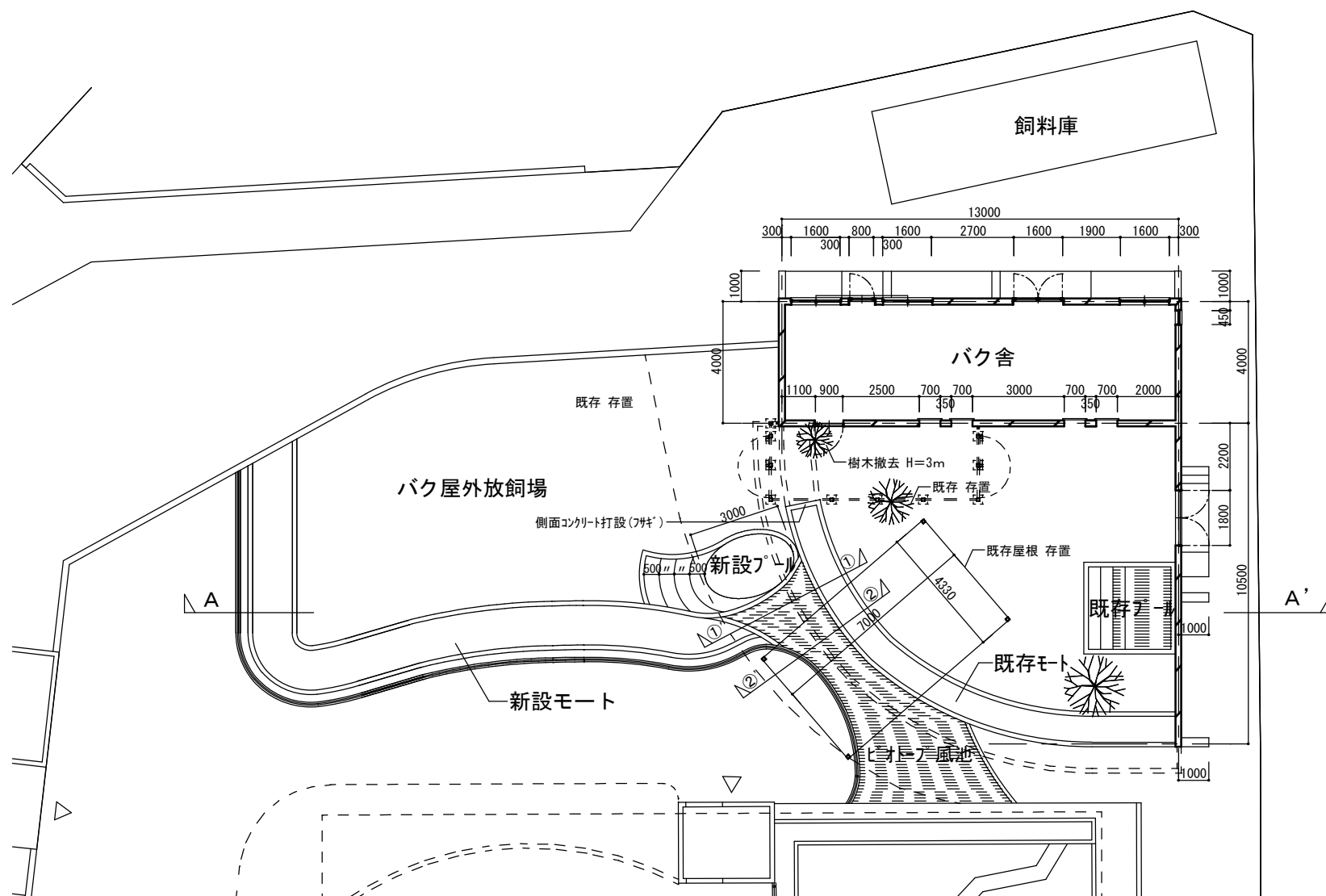
1 階床面積・建築面 積算定図

<メーカーリスト（同等品以上）>

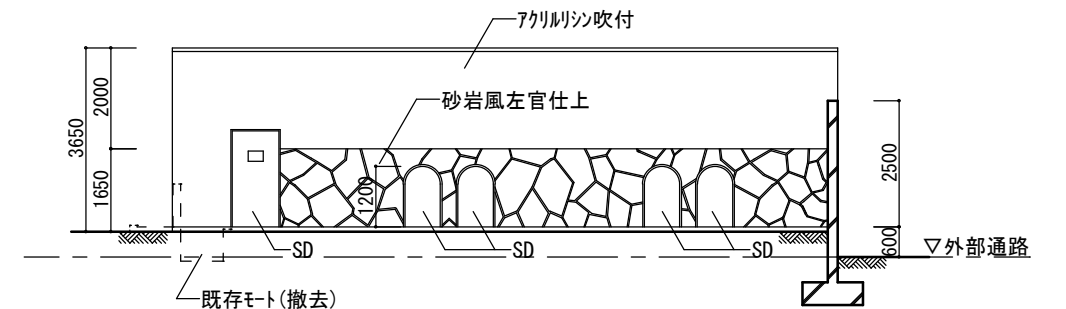




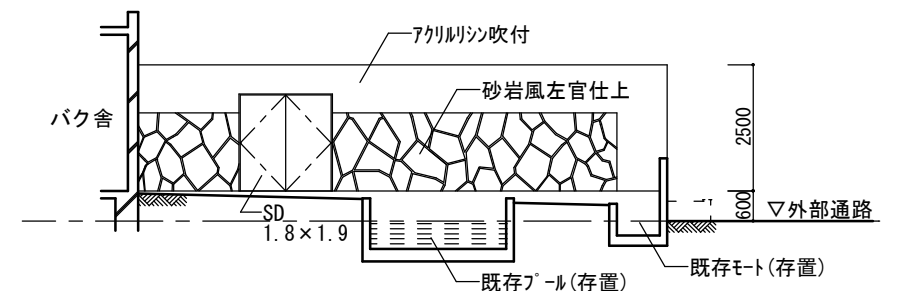
A-A' 断面 1/200 (A3)



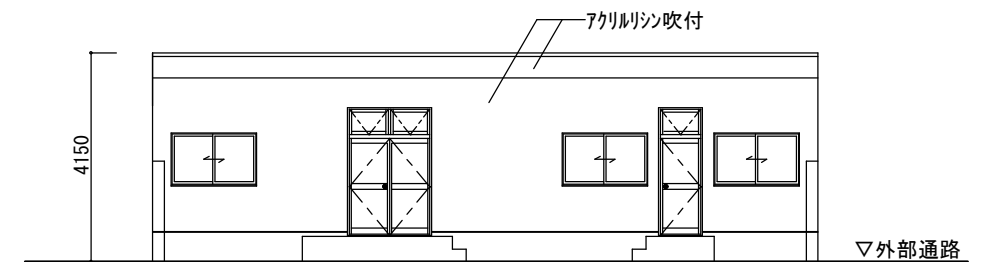
バク舎配置図 1:200 (A3)



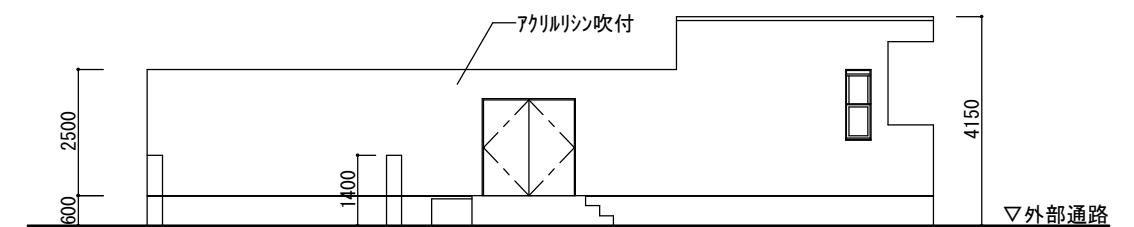
バク舎南側立面図 1/150 (A3)



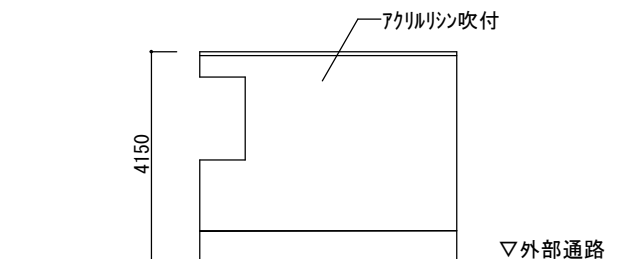
バク舎南側立面図 1/150 (A3)



バク舎北側立面図 1/150 (A3)



バク舎東側立面図 1/150 (A3)



バク舎西側立面図 1/150 (A3)

特記事項

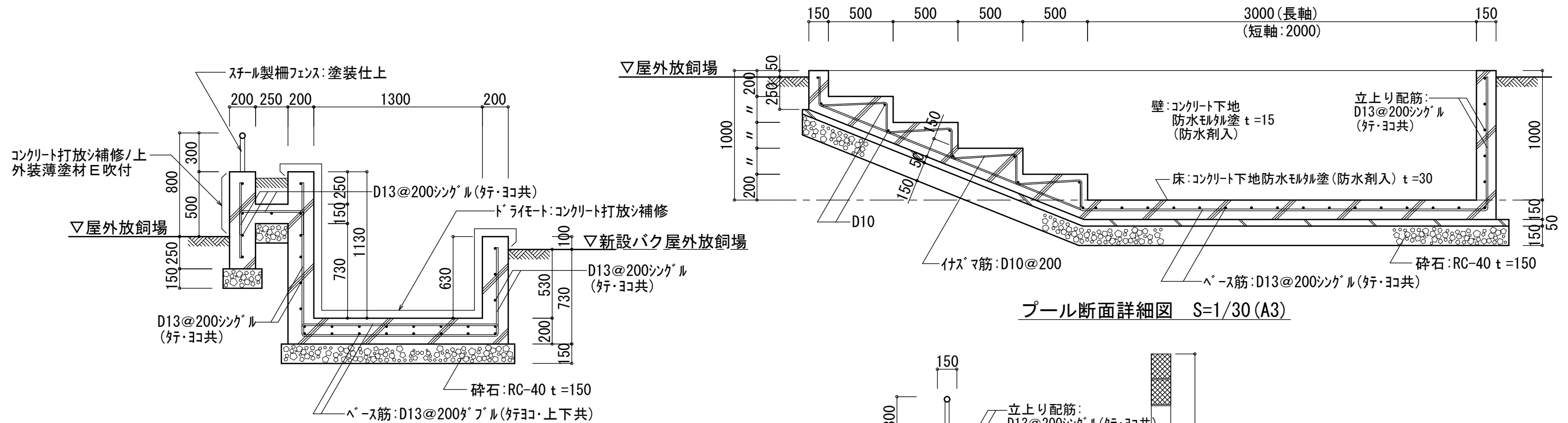


山梨建築設計監理事業協同組合

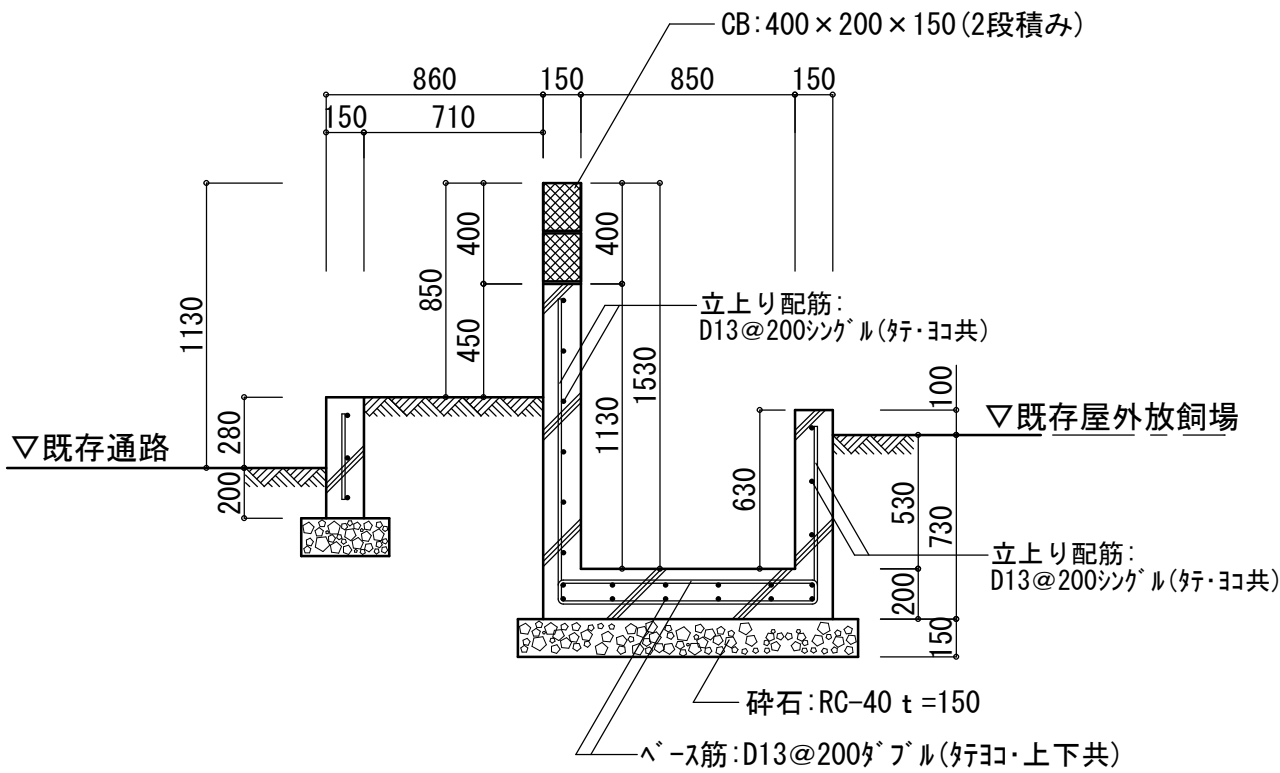
承認 代表設計者 設計担当者  
一級建築士 一級建築士  
第145710号 第195053号  
佐野 正秀 坪川 裕  
縮 尺  
A1→1/100 A3→1/200  
A1→1/75 A3→1/150  
設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園Ⅱ期整備(建築主体)工事(南—バク舎)  
図面名称 バク舎 配置平面図・立面図、断面図

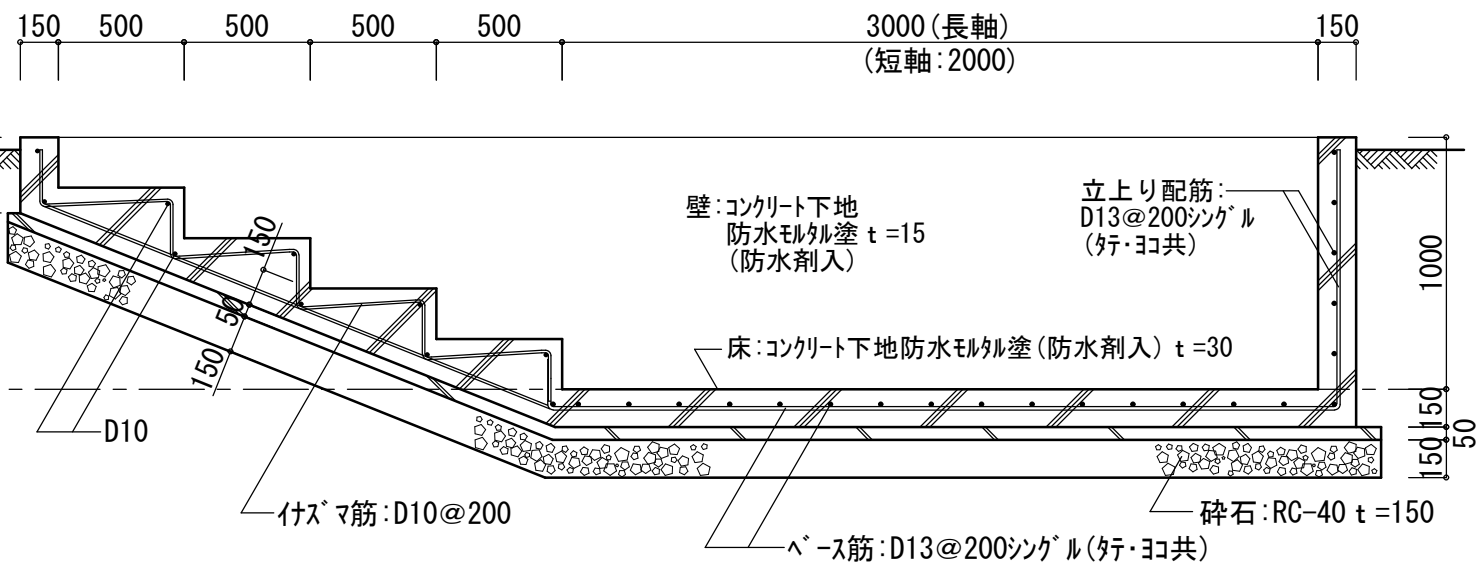
南バA-09  
No.



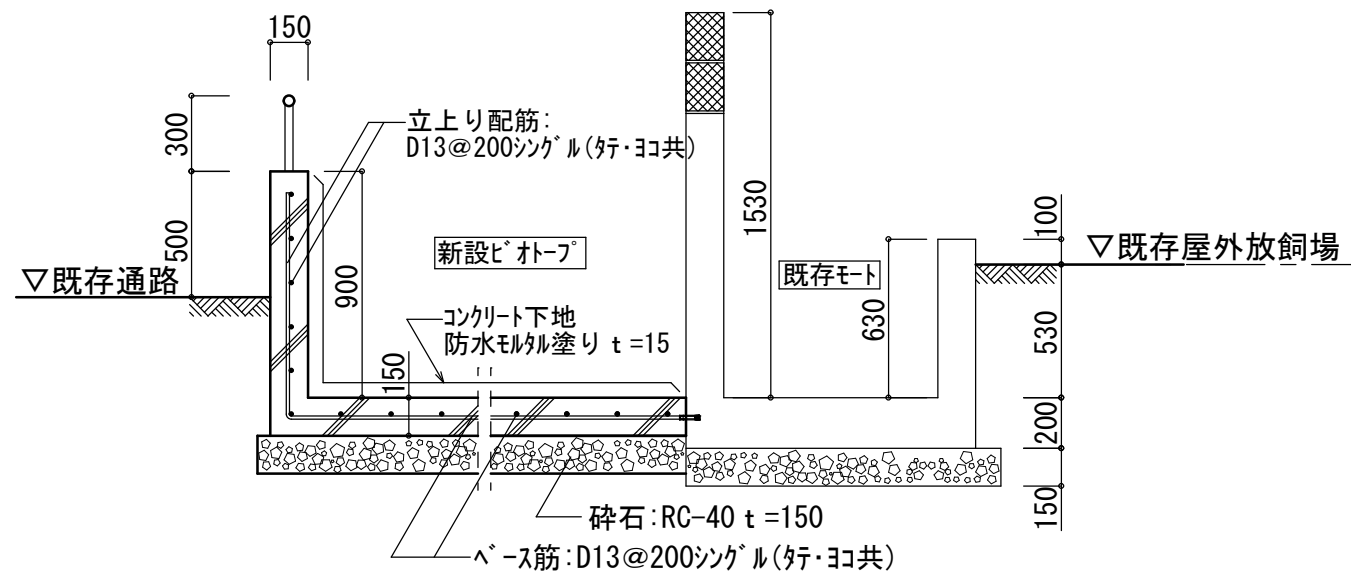
新設モート断面詳細図 S=1/30 (A3)



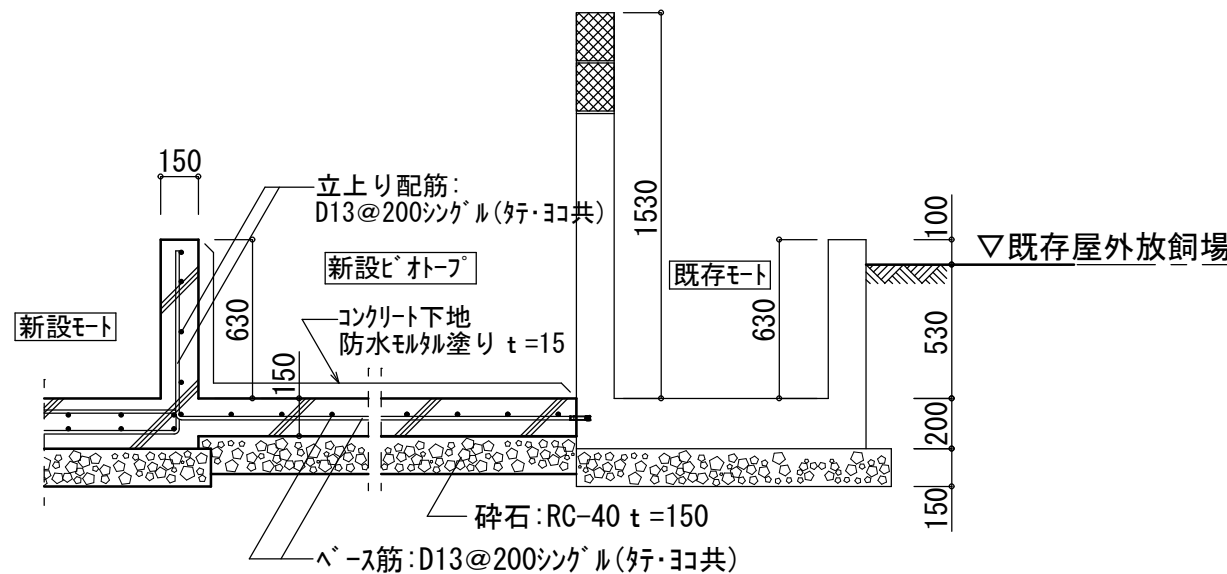
既存モート断面詳細図 S=1/30 (A3)




プール断面詳細図 S=1/30 (A3)

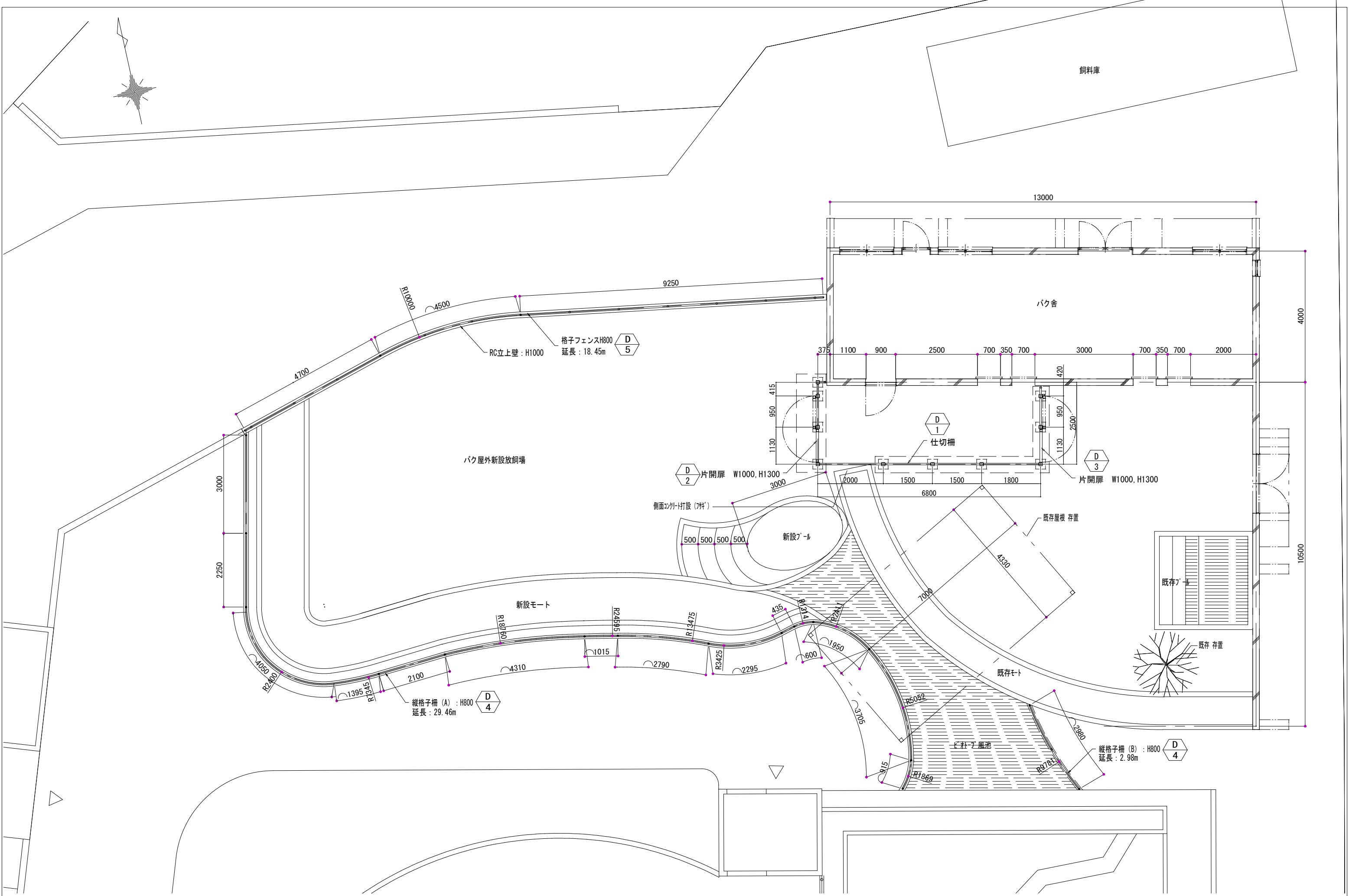



ビオトープ風池 ②-②' 断面詳細図 S=1/30 (A3)



ビオトープ風池 ①-①' 断面詳細図 S=1/30 (A3)

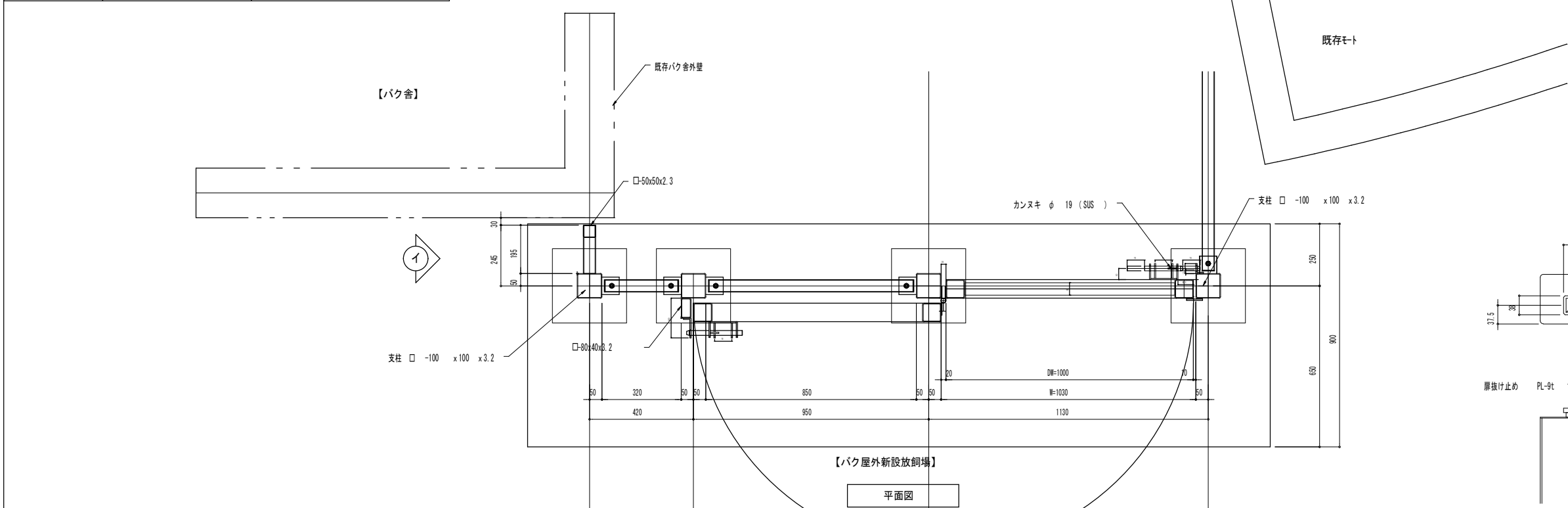
特記事項	 山梨建築設計監理事業協同組合			承認	代表設計者	設計担当者	縮尺 A1→1/30 A3→1/60 設計年月日	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南バク舎)	図面名称 詳細図	南バ A-1 O No.
					一級建築士 第145710号	一級建築士 第195053号				
					佐野 正秀	坪川 裕				



				山梨建築設計監理事業協同組合		承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称	遊亀公園附属動物園Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南—バク舎)	南バA-1 1
						一級建築士 第145710号	一級建築士 第195053号	A1→1/50 A3→1/100				
						佐野 正秀	坪川 裕	設計年月日	図面名称			

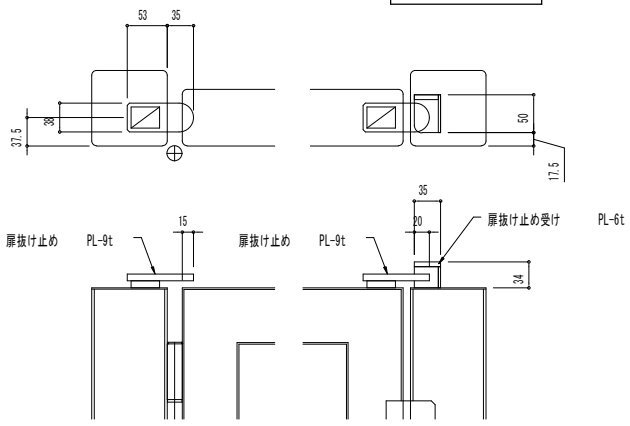


	片開扉	1台
--	-----	----

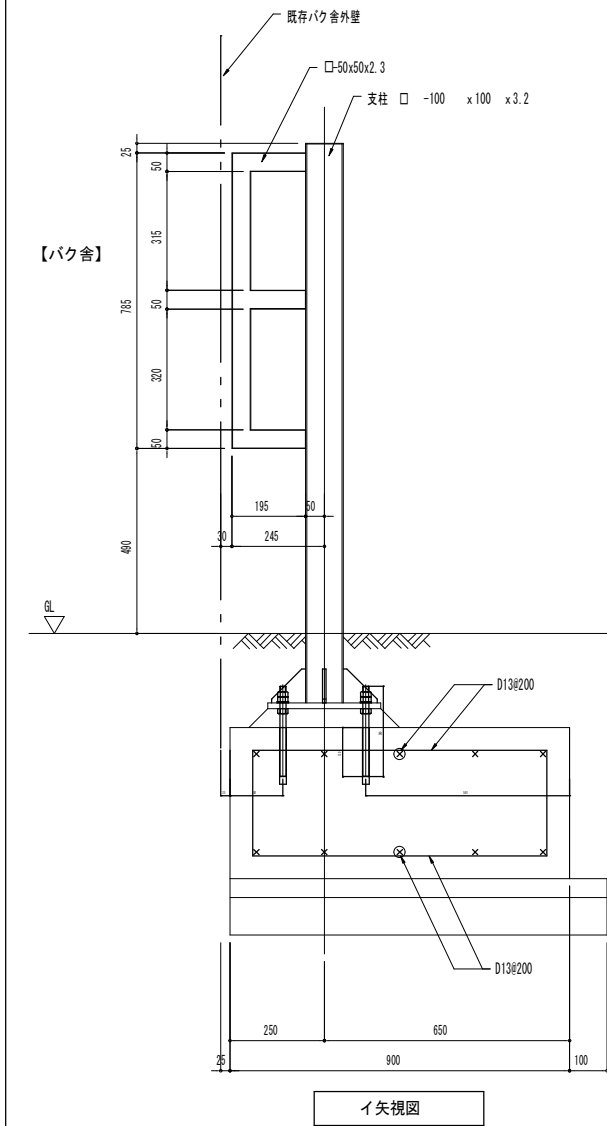
[illegible]

(部品数量は1台当りの数量を示す。)

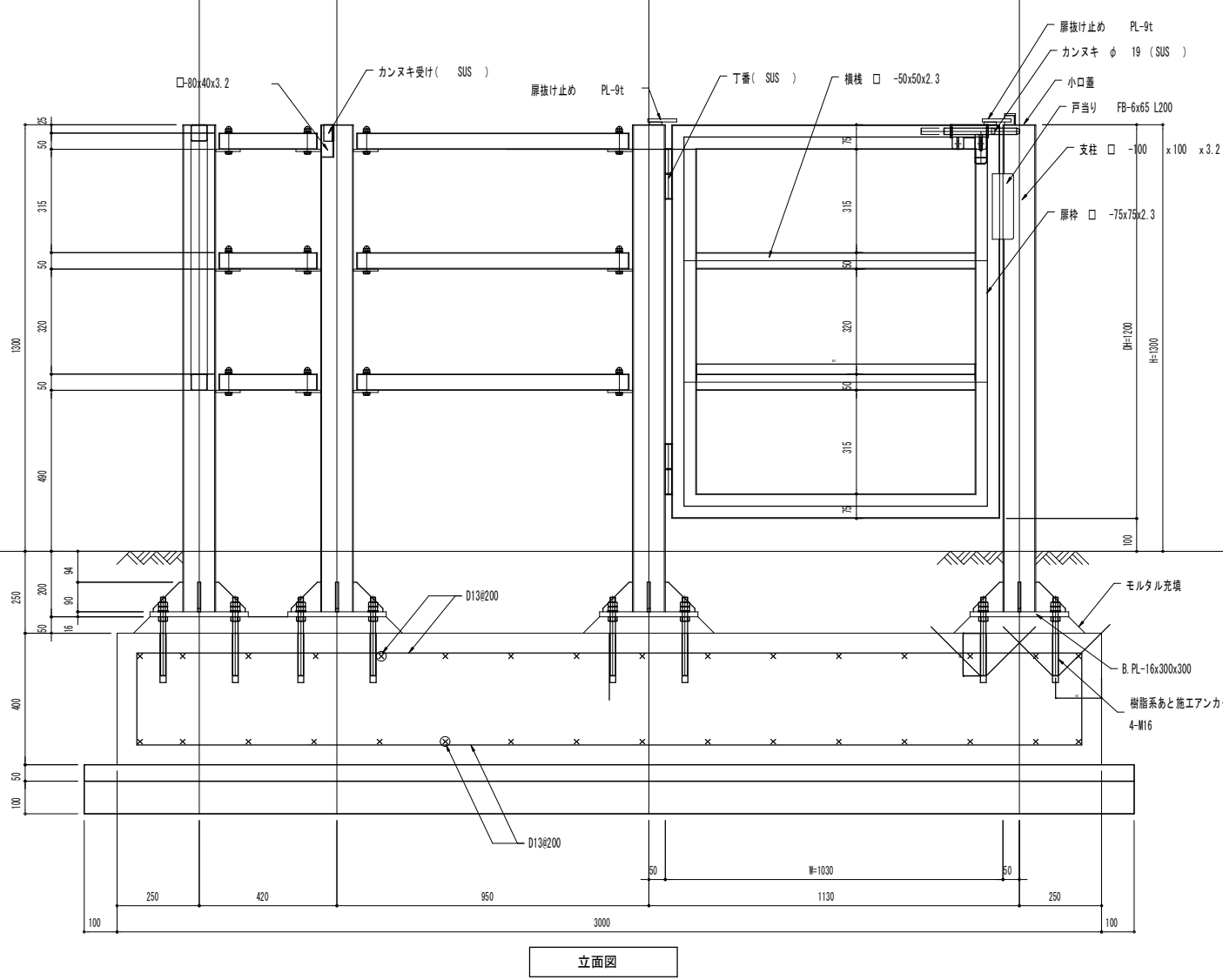
屏重量 約27.5Kg



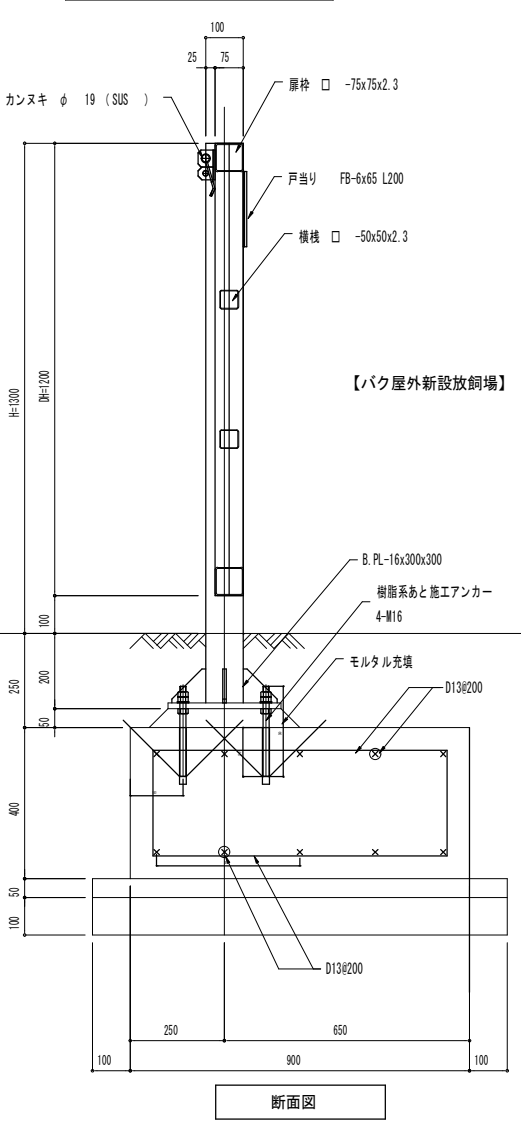
扉抜け止め 詳細図 S=1/5



イ矢視図



立面图



### 断面図

※特記なき鋼材は普通鋼材（SS400）、DP塗装（3級）仕上げとする



山梨建築設計監理事業協同組合

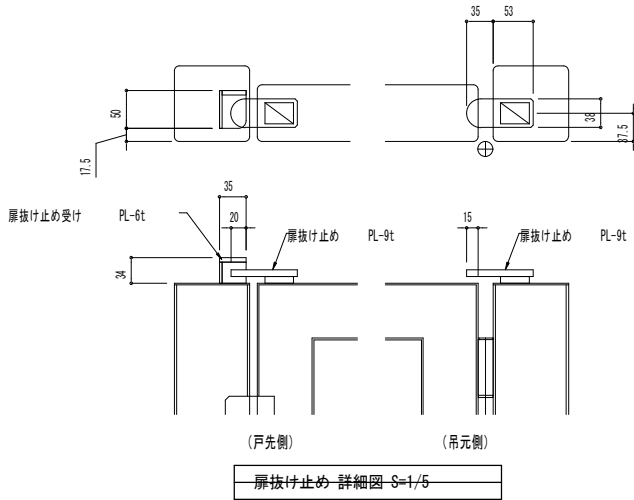
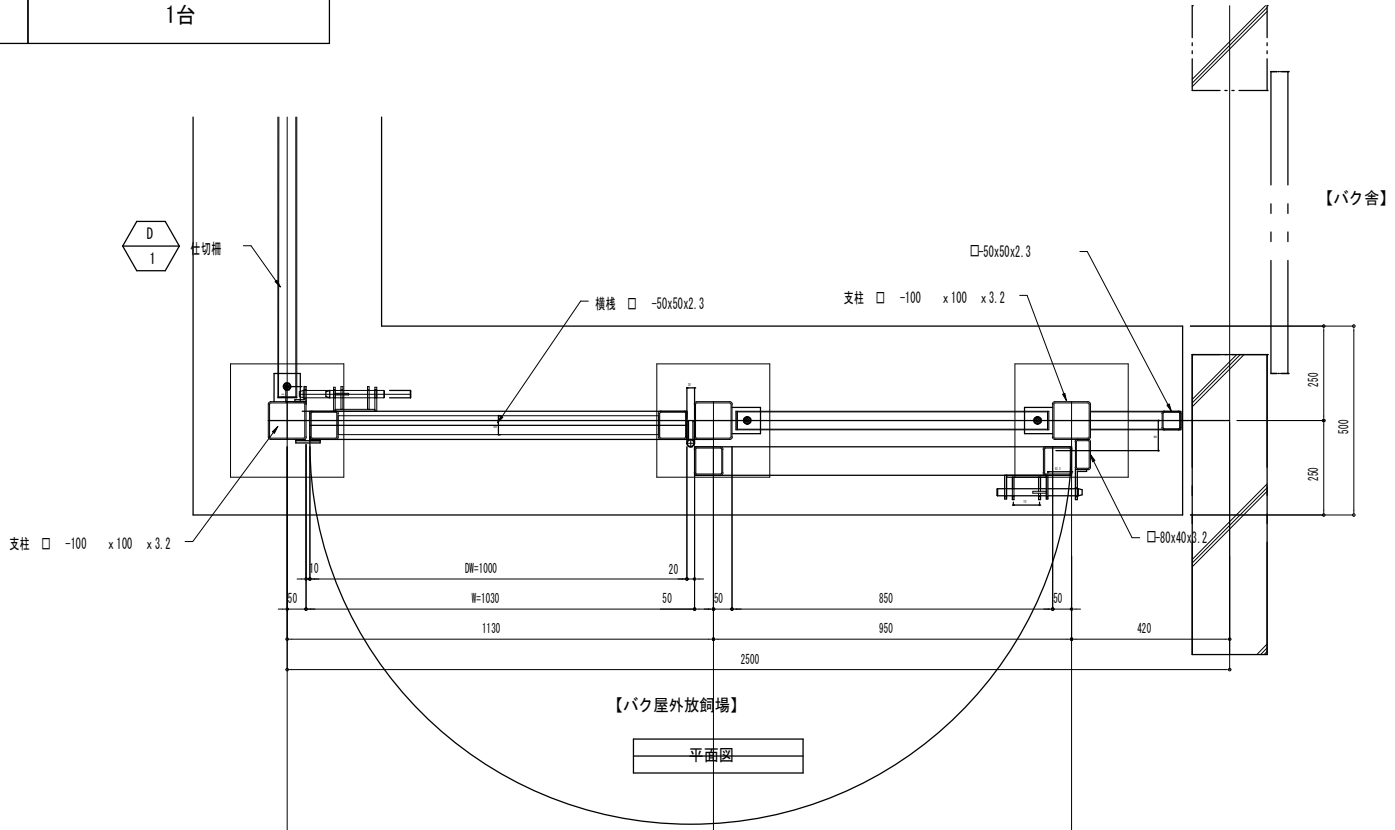
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第19503号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南一バク舎)

図面名称 バク舎 片開扉 詳細図1

南バA-13

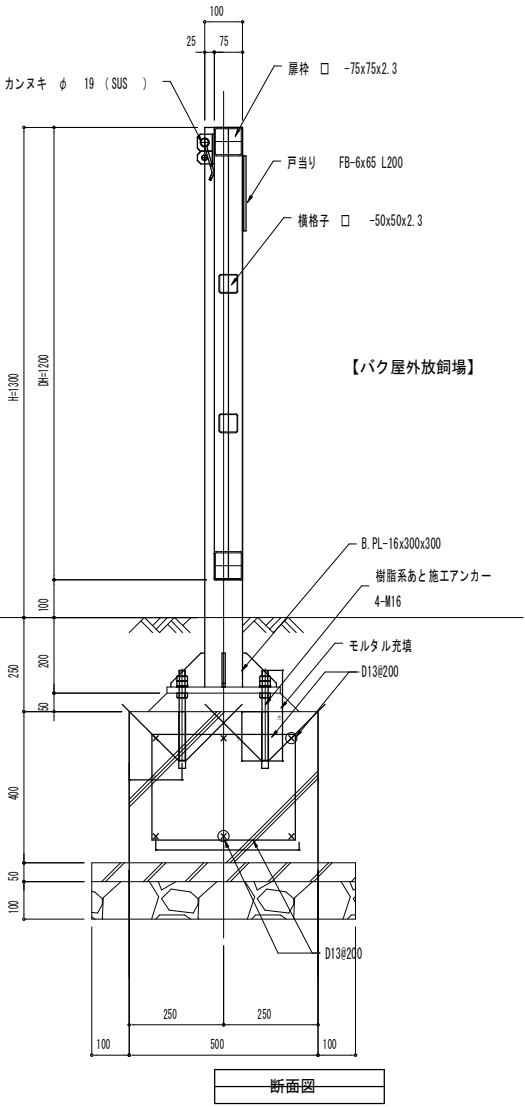
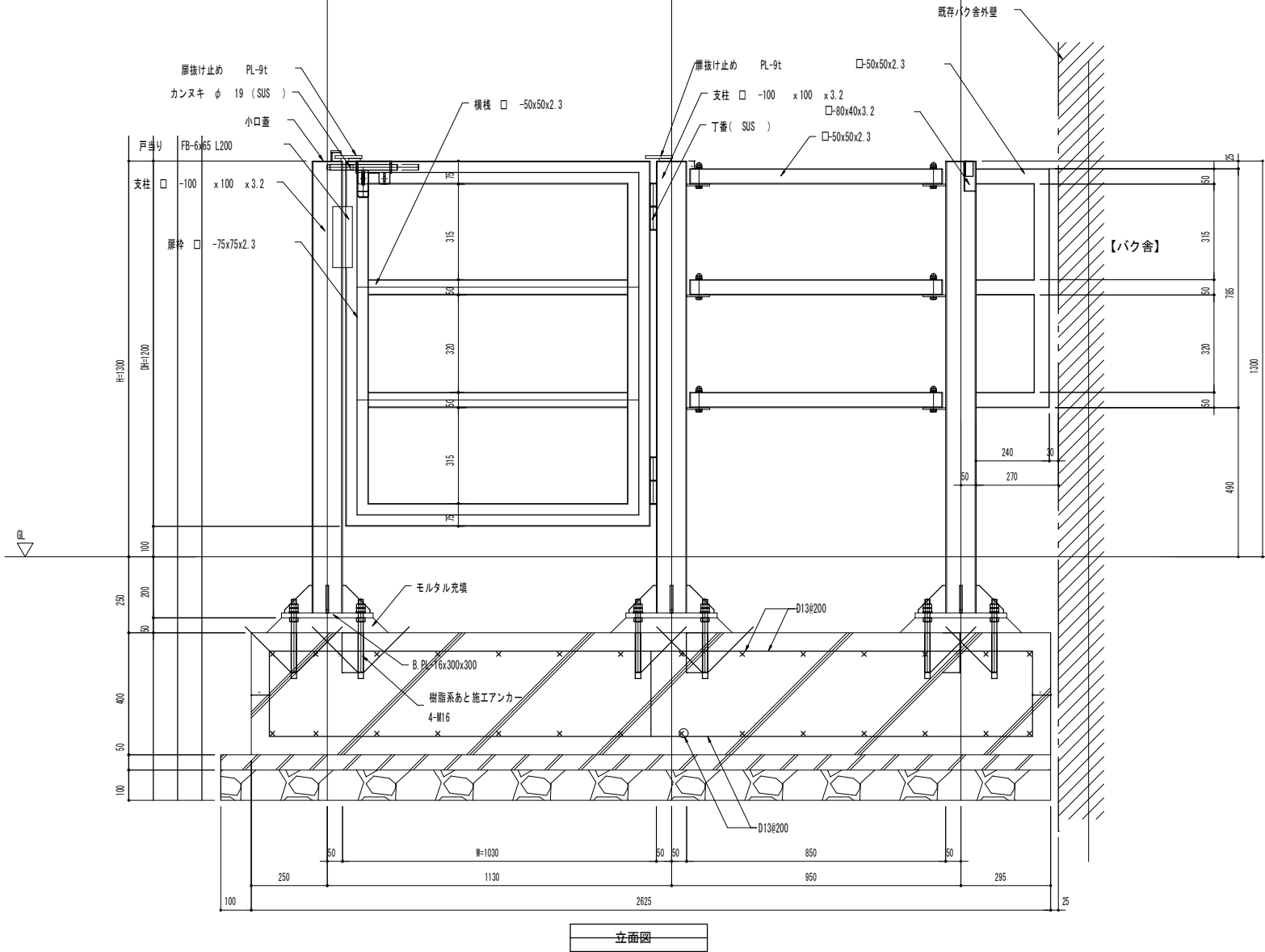
No.



符 号	数 量	取付場所 種 類	バク舎	
			親子扉	
	1	鋼材・仕上	普通鋼材( SS材 )・DP塗装( 3級 )	
		部 品 名	品 番	数 量
		SUS/丁番	重量丁番-φ20( 116x 151) B-1003-1	2
		SUS/カンヌキ	丸棒-φ19	1

( 部品数量は1 台当りの数量を示す。 )

扉重量 約27.5Kg



※特記なき鋼材は普通鋼材( SS400 ) 、DP塗装( 3級 ) 仕上げとする

特 記

事 項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第190053号 坪川 裕	AI→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南-バク舎)
図面名称	バク舎 片開扉 詳細図2

南バA-1 4  
No.

